

平成 18 年度

福井県立武生高等学校

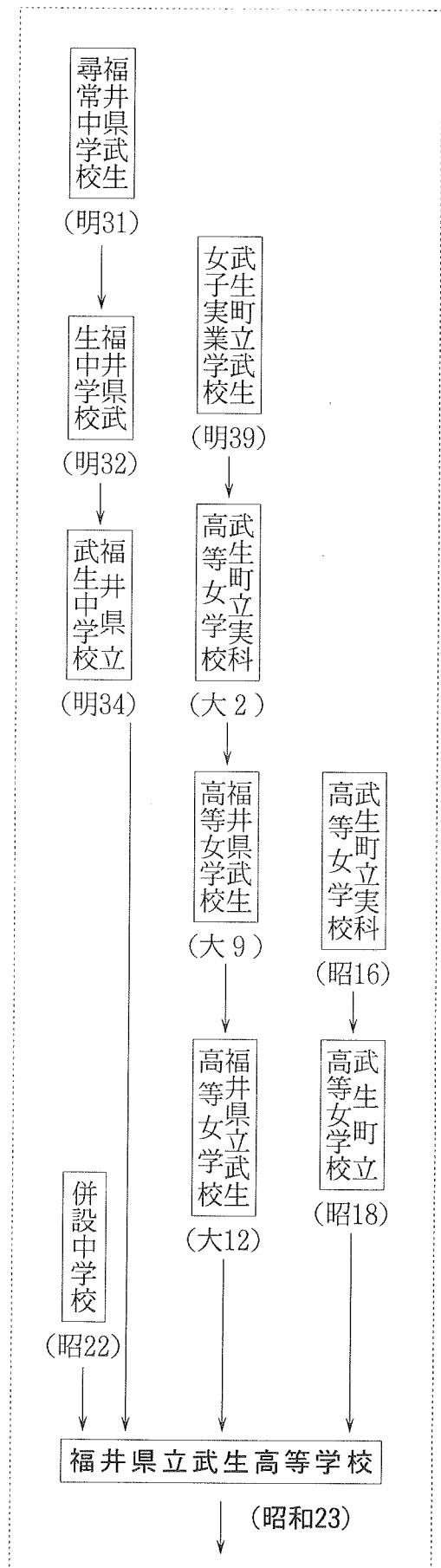
同窓会総会

日時 平成18年5月27日(土) 午後2時
(総会・特別企画 パーティー・懇親会)

場所 武生パレスホテル 平安の間

沿 革

- (旧制 県立武生中学校)
 明治31年 3月 1日 福井県武生尋常中学校を創設
 明治34年 6月12日 福井県立武生中学校と改称
- (旧制 県立武生高等女学校)
 明治39年 6月 9日 武生町立武生女子実業学校創設
 大正 2年 2月27日 武生町立実科高等女学校と改称
 大正 9年 3月10日 福井県武生高等女学校と改称
 大正12年 4月 1日 福井県立武生高等女学校と改称
- (旧制 町立武生高等女学校)
 昭和16年 4月21日 武生町立実科高等女学校認可
 昭和18年 4月 1日 福井県武生町立高等女学校と改称
- (福井県立武生高等学校)
 昭和23年 4月 1日 学制改革により福井県立武生中学校、福井県立武生高等女学校、福井県武生町立高等女学校を統合し、福井県立武生高等学校に改組し、普通・家庭・商業・工業の4課程を設定
 定時制(本校・池田分校・今庄分校および粟田部分校)を併設
 昭和30年 4月 1日 新校舎第1期工事完成、現在地に移転
 昭和34年 4月 1日 工業課程は武生工業高等学校として分離独立
 昭和35年11月 1日 新校舎工事完成、落成式挙行
 昭和38年 5月 8日 プール開き挙行
 昭和40年 4月 1日 武生商業高等学校新設に伴い商業科募集停止
 昭和40年 4月 1日 定時制池田分校は全日制池田分校となる
 昭和40年 5月30日 第二体育館落成式挙行
 昭和42年10月30日 生徒指導実験学校研究発表会を行う
 昭和43年11月 1日 創立70周年記念式を行う
 昭和44年 4月 1日 理数科設置
 昭和44年 7月19日 創立70周年記念館落成式
 昭和53年11月 1日 創立80周年記念式を行う
 昭和55年12月23日 普通教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和57年11月24日 特別教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和59年 3月31日 音楽教棟完成
 平成 3年 3月31日 本館・第1体育館リフレッシュ工事、正門並びにシンボル・ガーデン完成
 平成 4年 1月31日 定時制教棟改築着工
 平成 4年10月31日 定時制教棟完成
 平成 5年 3月20日 弓道場完成
 平成 5年12月27日 第2体育館リフレッシュ工事完成
 平成 7年 4月 1日 定時制課程単位制設置
 平成10年11月 1日 創立100周年記念式を行う
 平成10年11月 6日 葵講堂完成
 平成12年 3月31日 生徒会館(記念会館)リフレッシュ工事完成
 平成15年 2月10日 第1教棟耐震補強工事完成、並びに第1体育館改築着工
 平成15年10月31日 第1体育館完成
 平成17年 1月31日 第2体育館改築着工
 平成18年 2月24日 第2体育館完成



武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、越智の高嶺の彼方には

波幾千里日本海

巽の空に仰ぎ見る

御嶽の山は巍峨として

その秀嶺の影ひたす

日野の流れの清きかな

二、星霜経りし国府の跡

功は高き藤垣や

三つの川水治めけむ

君味真野の宮所

杣山松を吹く風は

忠義にはやる矢叫びか

三、栄ある歴史偲びつゝ

紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に

知徳をみがく五春秋

朝日とのぼる向上の

誰百難に屈せむや

四、赤帝焰を息吹く時

熱球宙を飛ぶところ

朔風雪をふぶく時

竹刀火花の散るところ

血潮はわきて青春の

男児の腕高鳴れる

五、嗚呼東海に覇を唱ふ

国をになはむ任重く

母校の誉世の光

かゞやかすべき南越の

健児はわれぞ芳ばしく

咲かむ万葉の山桜

武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

- 一、男大迹の皇子のおはしけむ
ゆかりたふとき道の口
武生の国府と名に立ちて
文化の花も先づ咲きし
昔の跡に開けたる
まなびの園の名もよしや
- 二、忠義に燃ゆる杉山の
紅葉の色をかざしにして
越前富士に積む雪の
清きを己が心にて
日野の川波絶えずのみ
勉め励まんいざやいざ
- 三、後の宮の詠みましし
御歌の意かしくみて
人の中にもをみなたる
道の誠をみがきつぬ
家をも身をもとのへて
千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

- 一、都に遠く雲閉す
日野の盆地と云ふ勿れ
山河穢れず人怜く
若人の夢みな清し
- 二、武生の国府とうたはれし
代々の文化のあとを見よ
史上に残る名に富むを
郷土のほまれ誰か継ぐ
- 三、味真野の子や丹生の子の
学びに集ふ二千人
校舎あかるく庭ひろく
朋友師弟 睦しき
- 四、いかにか生くと人間はば
我は明朗自律の児
まことを求め道に生き
世に尽さんと答へまし



ご 挨拶

同窓会会長 三田村 俊 文

新緑の候、武生高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本日は、平成18年度同窓会総会のご案内を申し上げましたところ、ご多忙の中、多数の皆様のご出席を賜り開催できますことに厚く御礼申し上げます。

また、本年度の総会開催にあたりましては、実行委員長玉村和夫様をはじめ、昭和44年卒業の方々を中心に関係各位のご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、暮れには記録的な大雪に見舞われ各地で災害を被り、一昨年の福井豪雨の時とともに自然災害の怖さを痛感したところですが、恒例の同窓会事業につきましては、おかげさまで順調に運営することができました。また、各支部におかれましても、支部総会、懇談会の開催を通じて校友の親睦を深められるとともに、日頃より同窓会活動の推進にあたり格別のご支援・ご協力をいただいておりますこと、あらためて感謝申し上げる次第でございます。

また、同窓会の主な活動のひとつであります同窓会名簿の発行や管理につきましては、個人情報保護法の施行に伴い見直しが必要とされており、引き続き今後のあり方を検討してまいります。

ところで、先月に教育基本法の改正案が国会に提出され、改正が実現すれば1947年の制定以来初めてとなります。制定当時と現在では、教育を巡る環境は激変しており、高校は事実上義務教育化し、大学進学率も大幅に増えています。また、地域社会や家庭のあり方も様変わりしており、学校現場はいじめや校内暴力、不登校、学力低下など様々な問題を抱え、教育に対する信頼感も大きく揺らいでいるのが現状ではないかと存じます。

このような状況の中で、戦後60年続いてきたわが国の教育基本法が改正されようとしている今、これからの教育を真剣に見直す重要な時期であると認識しなければならないと思っています。まずは、私ども大人自身が厳しい正義感と正しい倫理観を持ち子供たちに接していくことが大事だと思います。どうぞ、わが母校におきましても、克己心の強い、社会を先導するにふさわしい人材の育成を目指していただきたいと存じます。同窓会といたしましても、各事業活動を通じて、母校の教育向上のためにできる限りの協力をしてまいりたいと存じますので、今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校武生高等学校の限りないご発展と、同窓会会員皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

学校長 覚 田 義 彦

本日、平成18年度福井県立武生高等学校の同窓会総会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。日頃は三田村会長様をはじめ、役員・理事の方々、さらには同窓会員のみなさまには、本校の教育推進に対しまして格別のご支援、ご配慮を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

学校教育の現場も、少子化のなかで大きく様変わりをしてまいりました。「規制緩和、自己責任」が声高に叫ばれる今日、全国的にもさまざまな改革が進行しつつあります。本県も例に漏れず、学区の改変をはじめ、長期休業期間や授業時間数の弾力化など、お預かりした生徒の資質・能力を伸ばしていく環境は、各学校ごとに異なるのが当たり前の時代になってきました。教育は我々自身が責任を持って取り組まねばならない事業であり、決してサービスを提供するものではありませんが、より質の高い教育が求められる時代になってきていることも事実であります。このような時代にも、本校が曲がりなりにも歴史と伝統を継承していくことができているのは、皆様方からのさまざまなご支援あってのことだと、改めて感謝申し上げる次第であります。私たち学校に勤めるものは、入学してくる生徒諸君の資質・能力を可能な限り伸ばし、社会に有為な人材の育成に努めてまいりますので、今後ともどうかよろしくご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度の本校の活動については、すでにホームページや印刷物等でご報告のとおりであります。進学面では、国を挙げての「学力向上」が求められている中で、本県を代表する進学校としての役割を果たせたのではないかと考えております。とりわけ、難関大学や医学部・医学科への進学者数では、今年も他校を凌ぐ結果を出すことができました。

また、定時制課程においては、文化活動で「生活体験発表」部門、運動部で卓球部が、それぞれ全国大会出場を果たしました。進路についても希望する者はすべて進路先が決定するという快挙を成し遂げてくれました。分校でも中高連携の教育活動を軸に据え、6年間で一人前に育てるという姿勢で教育活動に取り組んでおります。

これらすべての成果は、同窓会のみなさまの目に見えない御支援、ご協力のお陰だと重ねてお礼申し上げます。

時代は、世界の中での日本という視点で物事をみることを要求しております。また、国内に目を転じて「道州制」の議論が進行しています。我々が誇りとする福井県が地方の中で埋没してしまうことのないよう、人材育成に取り組むことが我々に求められているのだと考えております。

学校を取り巻く環境はすさまじいスピードで変化しております。学校に対する外部からの評価制度や自己評価制度、さらには学校評議員制度の導入はもう目の前に来ています。これらすべては学校がその設置目的に対して、あるいは地域の住民の期待にどれだけ応えているのかをシビアに点検し、改善への道筋を明らかにすることを求められているからであります。

いずれにいたしましても、今年度から全学年が「全県一学区」によって本校を選んでくれた生徒諸君であります。入学した本校に誇りを持たせ、みなさまに恥ずかしくない武生高校にするべく努力する覚悟であります。

最後になりましたが、本年度総会のお世話をいただきました昭和44年卒業のみなさまのご尽力に対しまして、心から敬意を表しますとともに、今後とも変わらぬ御支援をいただけますようお願い申し上げます。同窓会のますますのご発展と、会員の皆様方のいっそうのご健勝、ご多幸をお祈りいたしましてごあいさつといたします。

平成18年度 武生高等学校同窓会総会日程

14:00～14:45

総 会 (於：3階 平安の間)

1 開会のことば 平成18年度総会実行委員長 玉村和夫氏

2 物故者に対する黙とう

3 同窓会会長挨拶 三田村俊文氏

4 学校長挨拶 覚田義彦氏

5 議 事

(1) 平成17年度事業報告について

(2) 平成17年度決算報告について

(3) 平成17年度会計監査報告について

(4) 役員改選

(5) 平成18年度事業計画案審議

(6) 平成18年度予算案審議

(7) その他

6 報告事項

(1) 事務局連絡

7 閉会のことば 平成18年度総会副実行委員長 山田俊明氏

15:00～15:45

総会特別企画 (於：3階 平安の間)

■講演 「いわさきちひろと母岩崎文江」

上坂紀夫先生

16:00～17:00

パーティー・懇親会 (於：3階 鳳凰の間)

- 1 開会のことば
- 2 実行委員長挨拶 玉村和夫氏
- 3 同窓会長挨拶 三田村俊文氏
- 4 乾杯
- 5 万歳三唱
- 6 閉会のことば

～なつかしの'60年代 エレキサウンド～

■演奏 68・34・メモリアル・バンド

リードG	河村 諭 氏 (44年卒業)
サイドG	山口 峰穂 氏 (44年卒業)
キー・ボード	田中 恵子 氏 (44年卒業)
ベースG	南出 証治 氏 (友情参加)
ドラムス	竹内 修 氏 (友情参加)
おはなし	小森 洋子 氏 (44年卒業)

武生高等学校同窓会 平成17年度 事業報告

平成17年

4月2日(土)	第3回同窓会総会実行委員会
4月11日(月)	会計監査
4月23日(土)	第4回同窓会総会実行委員会
4月25日(月)	第1回同窓会理事会・懇親会
5月7日(土)	第5回同窓会総会実行委員会
5月14日(土)	同窓会総会・懇親会
8月1日(日)	松柳会総会
8月17日(水)	同窓会常任理事会
10月26日(水)	開校記念校内マラソン
12月9日(金)	第2回同窓会理事会・懇親会

平成18年

2月17日(金)	「先輩と語ろう会」
3月2日(木)	本校卒業式・同窓会入会式(午前)
3月2日(木)	定時制卒業式・同窓会入会式(午後)
3月3日(金)	分校卒業式・同窓会入会式

各支部総会	中京支部総会	中止
	石川県支部総会	10月14日(金)
	関東支部総会	10月22日(土)

平成17年度「先輩と語ろう会」

武生高校では、生徒一人一人が自分の人生の生き方を模索し、将来について主体的かつ自立的な進路選択を図ることを目指して、3年間の中でさまざまな機会に進路意識を高める取り組みをしている。

平成16年度前半には、「スーパー講座」と銘打って、計18名の大学の先生を全国からお招きして、講義をしていただいた。また、平成17年2月には初めて「先輩と語ろう会」を開催し講師14名のうち11名の方は同窓生であった。

平成17年度は、7月に「スーパー講座」を開催し、そして、2月17日に10名の同窓生の講師をお招きし第2回目の「先輩と語ろう会」を開催した。今年度は主に1年生を対象に、下記のような多士済々の方々に社会の貴重な経験を語っていただき、授業では得られない広い視野を持つ機会であった。

先輩と語ろう会概要 (敬称略)

・日 時：平成18年2月17日(金)

・講 座

講座	講 師 名	卒 業 年	プ ロ フ ィ ー ル
①	山 内 清	昭和37年卒	大阪市立大学工学部教授、人工骨の第1人者
②	井 上 奈 緒	平成4年卒	金沢市立富樫小学校栄養職員、青年海外協力隊
③	賀 川 典 明	昭和52年卒	賀川薬局、漢方医学
④	芹 川 正	昭和37年卒	東京大学先端技術研究センター
⑤	田 辺 勉	昭和42年卒	建築設計事務所
⑥	脇 田 昇 治	昭和53年卒	わきた歯科
⑦	住 吉 正 夫	昭和37年卒	松下電工(株)開発部長、燃料電池の開発
⑧	片 岡 建 和	昭和42年卒	片岡税理士事務所
⑨	城 戸 茂 夫	昭和42年卒	木屋茂(株)代表取締役社長
⑩	平 山 勝 康	昭和55年卒	平山司法書士

***** アンケートの結果から *****

- 先輩の話はおもしろくて、いろいろな分野の話が聞けてよかった。
- まだ進路が決まっていない僕にとって、先輩のお話が聞けて進路の参考になってよかったなと思っています。
- 学校の先生からは絶対聞けないような話を聞けてとても勉強になりました。
- 時間がとれる限り、先輩と話したいと思いました。
- とても理解しやすく、具体的な身近な例を多くあげて話してくださったのでよかった。私たちの目線にあわせてくださっているようでとても嬉しかったです。
- 最初は固い話か不安だったが、時には真剣に、時には笑いも交えて、とても楽しかった。
- 「自分のやりたいことをやるには、努力が大切だ」という言葉がとても印象的でした。
- 高校時代からやりたいことが決まっていて、その夢に向かって頑張っていてすごいなと思いました。
- 先生以外の社会人の人から、今のうちに勉強しなければならないといった内容の話を聞けて、とても刺激になった。
- 今やっている勉強が無意味ではないということがわかった。また、社会でやっていくのは大変だとわかった。

平成17年度 武生高等学校同窓会 収支決算書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

一般会計

【収 入】

単位：円

項 目	17年度予算	17年度決算	比較増減	備 考
繰越金	967,097	967,097	0	
入会金	1,332,000	1,278,000	△ 54,000	全日374,分校19,定時制33(1名3,000円)
雑収入	20,000	34,415	14,415	名簿 CD 百年史残金 利息等
		40,000		関東支部より寄付
合 計	2,319,097	2,319,512	415	

【支 出】

項 目	17年度予算	17年度決算	比較増減	備 考
会議費	50,000	92,641	△ 42,641	理事会(4月、12月)
旅費	300,000	112,140	187,860	関東、関西、石川
消耗品費	10,000	11,025	△ 1,025	
通信費	65,000	63,237	1,763	電話料 送料
慶弔費	20,000	0	20,000	
事務費	20,000	42,300	△ 22,300	事務手当
支部補助費	255,000	236,000	19,000	関東 関西 石川 松柳会 池田 定時
母校振興費	300,000	200,000	100,000	
積立金	600,000	600,000	0	特別会計(定期預金)へ
予備費	699,097	104,000	595,097	会館補助、各支部懇親会参加費等
合 計	2,319,097	1,461,343	857,754	

平成17年度 収入合計 2,319,512 円

平成17年度 支出合計 1,461,343 円

平成18年度への繰越金 858,169 円

同窓会資産

一般会計	普通預金	858,169
特別会計	定期預金	9,907,505
同窓会会報会計		2,637,546
合 計		13,403,220

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

平成18年4月17日

監 事 鎌 谷 慶 昭



監 事 池 端 みつ子



武生高等学校同窓会会報特別会計収支決算書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

単位：円

収入の部	金額	備考
前年度繰越金	2,467,771	
平成17年度卒業生	561,000	1,500円×374人
新規購読	0	
合計	3,028,771	

支出の部	金額	備考
通信費	0	
会報発行費	391,225	国府印刷 117,180円 サラト 274,045円
合計	391,225	

収入－支出

$$3,028,771 - 391,225 = 2,637,546$$

(次年度へ繰り越し)

武生高等学校同窓会

平成18年度 事業計画案

平成18年

4月7日(金)	第3回同窓会総会実行委員会
4月17日(月)	会計監査
4月28日(金)	第4回同窓会総会実行委員会
4月28日(金)	第1回同窓会理事会・懇親会
5月27日(土)	同窓会総会・懇親会
8月1日(火)	松柳会総会
10月25日(水)	開校記念校内マラソン
12月8日(金)	第2回同窓会理事会・懇親会

平成19年

2月16日(金)	「先輩と語ろう会」
3月1日(木)	本校卒業式・同窓会入会式(午前)
3月1日(木)	定時制卒業式・同窓会入会式(午後)
3月2日(金)	分校卒業式・同窓会入会式

各支部総会	中京支部総会	未定
	石川県支部総会	9月下旬
	関西支部総会	10月21日(土)

平成18年度 武生高等学校同窓会 予算書(案)

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

一般会計

【収 入】

単位：円

項 目	18年度予算	備 考
繰越金	858,169	前年度繰越金
入会金	1,263,000	全日370, 分校15, 定時36
雑収入	1,000	利息
合 計	2,122,169	

【支 出】

項 目	18年度予算	備 考
会議費	80,000	
旅費	300,000	関西 石川 中京
消耗品費	10,000	
通信費	65,000	ホームページ プロバイダー契約
慶弔費	20,000	
事務費	50,000	
支部補助費	255,000	関西 石川 中京 松柳会 池田 定時
母校振興費	300,000	武生高校PRビデオ、パンフレット作成補助
積立金	600,000	特別会計(定期預金)へ
予備費	442,169	会館補助、各支部懇親会参加費等
合 計	2,122,169	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください。

武生高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。
- 第3条 本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 母校の教育向上のための協力
 3. その他前条の目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は正会員と特別会員の2種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。

- 正 会 員
1. 旧武生中学校の卒業生
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
 3. 旧武生高等学校併設中学校の卒業生
 4. 武生高等学校の卒業生
 5. 前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者
- 特別会員
1. 旧武生中学校の職員
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
 3. 旧武生高等学校併設中学校の職員
 4. 武生高等学校の旧職員及び現職員

第4章 役員及び顧問

- 第7条 本会に次の役員を置く。
1. 会 長 1名
 2. 副 会 長 5名
 3. 常任理事 若干名
 4. 理 事 若干名
 5. 会 計 1名
 6. 監 事 2名
 7. 顧 問 若干名

- 第8条 役員の選任は次の通り行う。

1. 会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
2. 常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選び、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
3. 理事は卒業年次ごとに1～2名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
4. 監事は理事の中から会長が委嘱する。
5. 顧問は理事会、総会の承認を経て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

- 第9条
1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務（財務、総会、会報、名簿など）に分担して参与する。
 3. 常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
 4. 理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
 5. 監事は会計及び資産状況を監査する。
 6. 顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。

- 第10条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第5章 会 議

- 第11条 本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。

- 第12条 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。司会は出席者の中から選ぶ。

- 第13条 総会で審議する事項は、次の通りである。

1. 会長、副会長の選出
2. 常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
3. 決算及び会務・事業報告
4. 予算案及び事業計画案
5. その他の必要な事項

- 第14条 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。

- 第15条 理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の3分の1以上の出席者がな

ければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。

1. 総会に付議すべき事項
2. その他の必要な事項

第6章 会計及び資産

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第17条 本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれにあてる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。

第18条 本会の入会金は3,000円とする。

第19条 本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に供してはならない。

第7章 会則の変更

第20条 本会則は理事会の承認を経て、総会の議決をえれば改正することができる。

第8章 補 則

第21条 本会則は平成6年4月1日に改正し、即日これを施行する。

平成18年度武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

		氏 名	卒業年次			氏 名	卒業年次			氏 名	卒業年次
会 長	再	◎ 三田村俊文	31	理 事	再	伊藤 公子	31	理 事	再	◎ 笠原 章	45
副会長	再	◎ 三田村久治	24	"	再	林 泰伸	32	"	再	上木 義晴	45
副会長	新	◎ 堀 婦佐子	30	"	再	桜井 俊之	32	"	再	栗塚 俊夫	46
副会長	再	◎ 岩堀真理子	35	"	再	◎ 堀川 利彦	32	"	再	藤木 茂之	46
副会長	再	◎ 河合 敏一	36	"	再	増沢 幸雄	33	"	再	吉田 津義	47
副会長	再	◎ 五十嵐義和	40	"	再	小川 康子	33	"	再	◎ 斎藤真理子	48
会 計	再	◎ 山田 洋三	35	"	再	齊藤 敏機	37	"	新	三村 昌之	48
監 事	新	◎ 河嶋 和子	20	"	再	◎ 香川 克子	37	"	再	川端 幸光	49
監 事	再	◎ 鎌谷 慶昭	32	"	再	山本 正敏	37	"	再	奥山 義治	49
理 事	再	斎藤 君枝	16	"	再	◎ 鶴野 一彦	38	"	再	田中 康和	50
"	再	大柳 栄次	20	"	再	◎ 高野 治士	39	"	再	岡田 武廣	50
"	再	吉田 陽子	22	"	再	橋本 和雄	40定	"	再	加藤 団秀	51
"	再	安本 俊子	22	"	再	上野谷憲示	40	"	再	河嶋 衛	51
"	再	池端みつ子	23	"	再	干田 國雄	41	"	再	松浦 宏由	51
"	再	西野 剛	26	"	再	宮崎 昌代	41	"	再	飯田 賢幸	52
"	再	◎ 成田 幸恵	27	"	再	玉村 一男	42	"	再	◎ 田中 大成	53
"	再	岸本 輝夫	28分	"	新	大平 昌宏	42	"	再	長谷川和弘	53
"	再	月岡 照晴	29	"	新	松井 透	43	"	再	上野 浩一	54
"	再	川口 忠治	29分	"	再	満月 広昭	43	"	再	野田 義弘	54
"	再	大川清次郎	29定	"	再	杉本はじめ	44	"	再	平山 勝康	55
"	再	◎ 吉田 勉	31	"	再	井上 和治	44	"	再	三田村裕和	55

◎ は常任理事

各支部

顧 問

事務局

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
関東支部長	◎ 細井 恭一	27	学 校 長	覚田 義彦		書 記 会 計	増澤 正博	
関西支部	◎ 武田 道雄	30	教頭(全日制)	中川 眞		書 記	齋藤 和秀	53
石川県支部	◎ 江端 義幸	44	教頭(分校)	小林 幸子	46	調 査	橋本 貴芳	57
中京支部長	◎ 須川 園子	36	教頭(定時制)	荒川 義弘		調 査	飯田 善一	H 1
						調 査	藤田 陽子	

◎ は常任理事

校内理事

分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
調 査	関 正明	41	調 査	佐野 幸一	53	調 査	嶺山 秀法	60
調 査	小谷 久能	43	調 査	中山 孝士	54	調 査	虎間 佳子	61
調 査	庄司 富子	44	調 査	水嶋 勝彦	56	調 査	鈴木 秀人	62
調 査	堀 直樹	46	調 査	山本 真司	56	調 査	内河千佳代	62
調 査	友永幸四郎	48	調 査	飯田 俊幸	57	調 査	篠山 幹治	62
調 査	福塚るり子	51	調 査	野坂 陽一	58	調 査	島田 由香	H 3
調 査	上田 光子	51	調 査	高原 一也	58	調 査	木下 弥	H 4
調 査	畠山 正史	52	調 査	酒井 龍弥	59	調 査	高芝 和紀	H 7
調 査	盛高 宏嗣	52	調 査	松浦 正樹	59	調 査	青山 真弓	H11

平成18年度 武生高等学校同窓会総会実行委員会 (昭和44年卒業)

委員長	玉村 和夫(6組)	副委員長	山田 俊明(8組) 椿原 恵(12組)
事務局	井上 和治(4組)	杉本はじめ(7組)	
実行委員	石本 茂雄(1組)	森田俊太郎(1組)	笹生 常夫(1組) 加藤 勝治(2組)
	澤崎 正喜(2組)	平池 美廣(2組)	天谷 幸雄(3組) 日下 博幸(3組)
	小倉 孝義(3組)	笠島 文夫(3組)	佐々木 博(3組) 窪田 幸雄(3組)
	高村 邦裕(3組)	橋本 栄二(3組)	水島 一憲(3組) 吉田 悦応(3組)
	梅田 英治(4組)	米野 真一(4組)	齊藤 隆(4組) 福田 末隆(4組)
	白崎 善三(4組)	田辺 賀(4組)	河村 諭(4組) 神谷 幸保(4組)
	山口 峰穂(4組)	用名 利和(4組)	田中 恵子(4組) 北島 輝代(4組)
	小森 洋子(4組)	野崎 敏朗(5組)	井上 孝二(5組) 中村 幸喜(5組)
	西澤 丈正(5組)	水野 裕司(5組)	阪井 洋子(5組) 蓑輪美保子(5組)
	駒野知佐子(5組)	三田村寿子(5組)	瀬戸かずえ(5組) 上木 克良(6組)
	西谷 宗孝(6組)	奥村 正昭(6組)	坪内 広(6組) 蓑輪喜代美(6組)
	吉村 美幸(6組)	川崎 則子(6組)	小垣 正広(7組) 福住 明典(7組)
	吉田 和典(7組)	広部 啓子(7組)	青木富美子(7組) 窪田富美子(7組)
	藤田あさひ(7組)	孝久由美子(7組)	角 裕幸(8組) 山田 俊明(8組)
	井上久美子(8組)	安本 景子(8組)	磯川 信子(8組) 山崎 信子(8組)
	瀬戸 英博(9組)	大森 善栄(9組)	京藤 節夫(9組) 栗塚 輝夫(9組)
	庄司 透(9組)	大西 邦夫(9組)	久保 悦子(9組) 増田 和子(9組)
	岩尾たき子(9組)	山本 雪枝(9組)	前田 栄子(10組) 岡部 陽子(10組)
	戸出 和子(10組)	瀧波比登美(10組)	中村 照子(11組) 林 三津子(11組)
	庄司 富子(11組)	徳橋 利子(11組)	土田すなを(11組) 森 園枝(11組)
	自信 麻美(11組)	辻本美代子(11組)	丸山 珠恵(12組) 小梶 幸子(12組)
	半澤 晴美(13組)	寺崎 るり(13組)	仲山 記代(13組) 齊藤 啓子(13組)
	田中千津恵(13組)		
	大久保久行(定 時 制)		
	飯田 照義(池田分校)		
	上野 浩一(昭和54年卒)	野田 義弘(昭和54年卒)	

御協賛企業・会社等一覧

(50音順)

協賛企業・会社名	住 所	電 話
相 木 病 院	越前市中央二丁目 9-40	0778-22-1607
(株) アイジーエー	越前市矢放町13-8-9	0778-23-3200
井上リボン工業(株)	越前市岩本町 9-4	0778-43-0810
岩 堀 病 院	越前市神明町 4-12	0778-22-0385
(株) ウエキグミ	越前市府中三丁目 9-1	0778-24-3300
上 野 ガ ス (株)	越前市若竹町 3-28	0778-24-1555
料亭 う お と め	越前市吾妻町 1-45	0778-22-0151
エ ネ ッ ク ス (株)	福井市花堂中二丁目15-1	0776-36-5821
王 子 保 郵 便 局	越前市今宿町 3-13-5	0778-23-4354
(株) オーシンMLP	越前市矢放町14-23	0778-23-0300
イベント総合サポート賀川	越前市矢船町 8-8-1	0778-24-2291
片岡輝昭税理士事務所	越前市堀川町 4-10	0778-23-4500
(株) カネイチ	鯖江市北野町12-13	0778-51-8855
(株) 鎌 仁 商 店	越前市小野谷問屋団地	0778-24-3333
(株) カ マ ヤ 食 品	越前市深草二丁目 3-3	0778-22-0544
(株) カ ラ ヤ	越前市中央二丁目 6-5	0778-22-2100
カ ワ イ (株)	越前市上太田町29-15-1	0778-22-0255
(株) 河 嶋 連 蔵 商 店	越前市本多一丁目 2-5	0778-24-3453
(株) 川 端 工 務 店	越前市四郎丸町31-2-9	0778-22-6577
木 屋 茂 (株)	越前市京町一丁目 2-12	0778-22-0516
ク ラ シ ス (株)	越前市日野美 2-18	0778-22-2260
倉 橋 会 計 事 務 所	越前市村国二丁目 6-19	0778-24-3469
小垣司法書士事務所	越前市府中一丁目10-8	0778-23-5411
(株) 国 府 印 刷 社	越前市北府二丁目12-31	0778-22-3706
(有) こ め の 商 店	南越前町関ヶ鼻13-11-1	0778-47-3250
金 蓮 寺	越前市元町 2-16	0778-22-7656
(株)サイエンスクラフト	越前市蓬莱町 5-1	0778-21-1189

協賛企業・会社名	住 所	電 話
(医) 斎 藤 医 院	越前市北府三丁目5-1	0778-22-0234
鯖江システムグループ	鯖江市神中町二丁目501-27	0778-54-7330
三 工 光 学 (株)	鯖江市北野二丁目13-12	0778-52-0353
(株)三和エンジニアリング	越前市横市町36-21-1	0778-24-4788
しみずクリニック	越前市国高1-3-12	0778-21-0101
ジャスパック(株)	越前市稲寄町7-18-1	0778-23-1143
正 通 瑞 香 堂 薬 局	越前市南三丁目5-4	0778-24-0826
瀬戸織ネーム工業(株)	越前市片屋町60-3	0778-22-4313
(株) ダ イ エ イ	越前市白崎町73-1-3	0778-24-4624
(有) 大 信	越前市矢放町13-8-2	0778-24-3275
大 和 建 設 (株)	越前市村国二丁目13-12	0778-22-0168
高橋フォートスタジオ	鯖江市水落4-6-3	0778-51-3243
(医) 武生記念病院	越前市小松二丁目7-25	0778-22-2887
武 生 製 麺 (株)	越前市真柄町7-37	0778-22-0272
(株)武生総合食品市場	越前市矢船町17-8	0778-24-3111
(株) 武 生 窯 業	越前市広瀬町138	0778-23-2372
田 中 建 設 (株)	越前市本保町21-10	0778-22-5255
タニオ保険(株)	越前市京町一丁目6-13	0778-24-0150
(医) 谷 川 医 院	鯖江市本町四丁目3-14	0778-51-4132
玉 村 紙 店 (有)	越前市蓬莱町3-34	0778-22-0438
(有) タ マ ヤ	越前市高瀬一丁目8-29	0778-22-0581
椿 原 織 物 (株)	越前市千原町4-18	0778-43-0066
帝国コンサルタント(株)	越前市国高一丁目6-1	0778-24-0001
テ ク ノ ス (株)	南越前町湯尾10-10-2	0778-45-2325
(有) 寺 嶋 商 店	越前市小野谷町4-3-15	0778-24-0532
(医)東武内科外科クリニック	越前市横市町6-3	0778-21-1155
東 洋 染 化 (株)	越前市本保町19-1-31	0778-22-6579
中野司法書士事務所	越前市天王町2-30	0778-23-5556

協賛企業・会社名	住 所	電 話
(医) 中 村 病 院	越前市天王町 4 - 28	0778-22-0618
西野会計税理士事務所	越前市平出二丁目 2 - 5	0778-23-3500
(医) 林 病 院	越前市府中一丁目 5 - 7	0778-22-0336
(株) パ ワ ー ズ	越前市問屋町	0778-23-6338
ひ ら い 医 院	越前市新町 8 - 1 - 11	0778-25-4118
平山司法書士事務所	越前市蓬莱町 8 - 24	0778-22-0867
(有) ブ イ テ ッ ク	越前市国中町61-63-1	0778-43-1009
(株) 福 井 新 聞 社	福井市大和田町56	0776-57-5111
福 井 テ レ ビ	福井市問屋町三丁目410	0776-21-2233
(株) 福 邦 銀 行	福井市順化 1 - 6 - 9	0776-21-2500
(株) 藤 谷 商 店	越前市小野谷町 4 - 3 - 4 (問屋団地)	0778-24-0805
ヘアーステージスワン	越前市国高二丁目18-1-3	0778-22-3514
(有) ベ ル ベ ー ル	鯖江市小黒町 1 - 5 - 3	0778-52-3888
(株) ホ ー ム デ コ	越前市北町74-52-1	0778-24-0072
干 田 建 設 (株)	越前市八幡一丁目24-12	0778-22-4170
(医) 堀 川 医 院	越前市本多一丁目 6 - 7	0778-24-3850
増 永 歯 科 医 院	越前市庄町 1 - 4	0778-21-5552
(株) マ ツ ヤ ベ ー カ リ ー	鯖江市丸山町一丁目305	0778-51-1622
み ず の (株)	越前市家久町96-12-1	0778-24-4555
(株) 三 田 村 工 務 店	越前市神明町 4 - 8	0778-22-0560
山 本 歯 科 医 院	越前市元町 1 - 12	0778-24-0558
U I ゼ ミ ナ ー ル	福井市二の宮四丁目1-10 二の宮103ビル	0120-30-8773
吉 田 皮 膚 科 医 院	越前市姫川二丁目 3 - 3	0778-24-5532
(株) ラ イ ト ス タ ッ プ	福井市春山一丁目1-14 福井新聞桜通りビル3F	0776-22-7201
ライフプランナー吉村	越前市広瀬町133-4-1	0778-22-0575
ローソン武生高瀬1丁目店	越前市高瀬一丁目 3 - 34	0778-21-3105
武生パレスホテル	JR 武生駅すぐ前	0778-23-8100

Memo

ス テ ー ジ

旧制中学校	役 員	恩 師	旧制女学校
(雅)	(松)	(竹)	(誠)
旧制中学校	24年～29年	24年～29年	24年～29年
(義)	(栄)	(松)	(柳)
35年～39年	35年～39年	30年～34年	30年～34年
(光)	(清)	(萩)	(寿)
40年～43年	40年～43年	45年～49年	45年～49年
(慶)	(祥)	(幸)	(董)
54年	54年	50年～55年	50年～55年
(福)	(祝)	(賀)	(和)
44年	44年	44年	44年
(錦)	(華)	(富)	(橘)
	44年	44年	
	(綾)	(孝)	

水割コーナー

水割コーナー

座席表

1. 数字は卒業年を表します。
2. 一応の目安で決めてありますので適当に譲りあって下さい。
3. 一卓14人以内として考えてあります。

武生高等学校同窓会

URL <http://www.buko-dosokai.com>

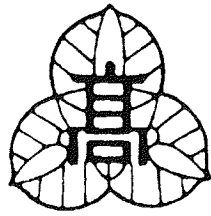
E-mail

事務局 inoue@scraft.co.jp
関西支部 kansai@buko-dosokai.com
関東支部 kanto@buko-dosokai.com
中京支部 chukyo@buko-dosokai.com
石川支部 ishikawa@buko-dosokai.com

平成18年度
武生高等学校同窓会総会

平成18年 5月27日

発行責任者 玉村 和夫
編集責任者 総会実行委員会事務局
印刷 (株)国府印刷社



平成18年度
福井県立武生高等学校
同窓会総会実行委員会